

ASKの 飲酒運転対策

特定非営利活動法人ASK
代表 今成 知美

主な活動

■ 要望・提言

多量飲酒と依存症に介入する必要性(02年～08年に7回)

■ 海外視察(再犯防止の教育プログラム)

アメリカ・カリフォルニア州 06年／オーストラリア・NSW州 07年

■ 調査分析

・断酒会アンケート 06年

・Yahoo/Google掲載の飲酒運転ニュースの分析

① 懲戒処分事例の分析(113例) 07年4月～10月

② 代行運転の落とし穴(64例) 06年9月～08年4月

③ 教職員懲戒処分事例の分析(74例) 07年10月～08年9月

■ 予防教育・広報活動

飲酒運転の背景と対策

飲酒に甘い
社会

酒のつきあい

「一杯くらい」と勧められ「つい」飲んでしまいがちな環境

見て見ぬふり

角を立てるより、黙認するほうが楽

「このくらいなら大丈夫」

アルコールに対する知識の不足

誤解や思い込みが多い

気のゆるみと過信

酔いは脳のマヒ。酒に強いほど、酔いの自覚がなく「大丈夫」と思いがち

飲まずにいられないメカニズム

眠るための飲酒

プロ運転手は寝酒が習慣化しやすい

多量飲酒→アルコール依存へ

飲酒のコントロール障害が症状誤解と偏見により潜在化

厳罰化

周囲が止めるしくみ

テクノロジー

教育

治療

飲酒運転を切り口に飲酒問題に介入する

節酒

教育

飲酒運転の頻度増大⇒

機会飲酒

習慣飲酒

乱用
(境界線)

依存症
初期

依存症
中期

依存症
後期

多量飲酒

断酒

治療

生活習慣病・うつ・自殺・DV予防対策にもなり、社会的コストの削減にもなる。